

鎌 総 第 3104号

令和4年(2022年)2月1日

鎌倉市議会議長 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242、2243)

議会受付番号	文書質問第 9 号
質問者	長嶋竜弘 議員
答弁する者	市長（健康福祉部市民健康課健康づくり担当）

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第9号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

鎌倉衛生時報第870号令和4年1月1日号に、「まだ免疫を持たない、5～11歳の接種を速やかにすすめ」との記載がある。これは明らかな間違った記載である。

「新型コロナワクチン接種による免疫を持たない」と記載する事が正しいと考える。

この件について、ただちに市長が謝罪・訂正を行うべきと健康福祉部長、総務部長にお話ししたが、いまだになされていない。

この件につきどのように考えているのかお伺いする。

同時に、脊椎動物で免疫を持たない動物が存在するののかも伺いたい。

2 質問の理由

市民の皆様の間違った認識を与えたままワクチン接種事業をすすめる事は問題なので、至急対応する必要があるが対応がなされないの。

3 答弁

筆者に確認したところ、御指摘の箇所は、その前段の新型コロナワクチン接種について説明した部分を受け、「ワクチン接種による獲得免疫」という意味で「免疫」という表現を用いたとのことであり、本市としても今回の記事で市民の皆様の間違った認識を与えることになったとは捉えていないため、本件に関する謝罪・訂正は考えておりません。

しかしながら、「免疫」について、市民の皆様によくお知らせする必要はあると考えるため、1月号記事を再掲しないままその補足をすると読者にはわかりづらいことから、3月号に新しく「免疫」に関するコラムを掲載し、市民の皆様にご理解を深めていただこうと考えております。

なお、脊椎動物で免疫を持たない動物が存在するかという点については、脊椎動物は免疫を持っており、「自然免疫」と「獲得免疫」の両方を持つ脊椎動物と、「自然免疫」のみを持つ脊椎動物がいることが確認できました。